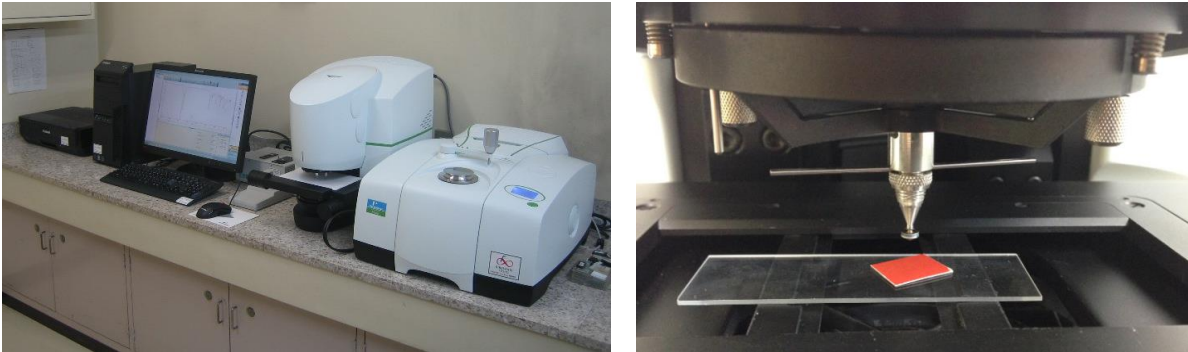


事業者名	東大阪市								
機器名	顕微フーリエ変換赤外分光装置								
写真									
特徴・用途	顕微赤外分光光度計が使用でき、微小試料の分析が可能になる。さらに、データベースやオプションを充実することで、効率よく混合物の分離定性を行うことができる。								
設置場所	東大阪市立産業技術支援センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成26年12月	2	0	6	2	3	0	0	8
	平成27年1月	1	0	5	0	0	0	0	5
	平成27年2月	4	0	5	3	6	0	0	8
	平成27年3月	9	0	10	8	15	0	0	18
	平成27年4月	10	0	12	10	15	0	0	22
	平成27年5月	6	0	10	8	11	0	0	18
	平成27年6月	7	0	15	8	13	0	0	23
	平成27年7月	11	0	14	13	19	0	0	27
	平成27年8月	13	0	20	18	26	0	0	38
	平成27年9月	9	0	15	14	22	0	0	29
	平成27年10月	8	0	10	8	11	0	0	18
	平成27年11月	9	0	11	9	11	0	0	20
	平成27年12月	7	0	13	10	14	0	0	23
	平成28年1月	6	0	8	7	9	0	0	15
	平成28年2月	6	0	12	8	9	0	0	20
平成28年3月	14	0	21	19	25	0	0	40	
利用者等の声	測定試料の形態(固体、粉体、フィルム、液体等)にかかわらず、簡単な操作で測定が可能になった。データベースが豊富にあり、測定結果より測定試料の類推ができるようになった。								
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h26/pdf/26-160koho.pdf								